

雑貨やアパレル商材の加工を手掛けるスズシゲ（鈴木利則社長、大阪府摂津市）の水町哲博チーフは、「いただいた仕事を確実に高い品質で顧客ニーズに応えて信頼を勝ち取っている」と力強く語る。

「ベビー服などは特に金具などが混入していると危険なので0・8ミまで検知できる機械を導入した。顧客に合わせた高い品質レベルを追求している」という。

同社は出入り口が一つしかない倉庫を二つ使い、倉庫中央に検針機を置くことで片方の倉庫から入庫。もう一つから出荷することで検針作業を明確化している。また、同社が導入する検針機は検針基準1・0ミよりもさらに細かな0・8ミのものまで検針でき安全な商品を提供している。

## 「高品質を追求」 顧客の信頼獲得

スズシゲ

一つひとつを丁寧に確認しながら作業することで目視の検品にもなり、社員一丸となってクレームをなくすことで荷主から絶大な信頼を得ている。「長年お付き合いをしている顧客からの紹介や口コミなどで顧客も増えている」という。



水町氏は「徹底した付加価値をつけることで、他社との差異化を図る」とし、「荷主企業にクレームが行かないように自社で食い止めることが使命」と意気込みを語る。

水町哲博チーフ

（中村優希）